

事業報告書

事業期間

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

本部

母子父子福祉センター

ゆたか保育園

わかば保育園

売店

1. 事業報告

(1) 会議

- ① 運営会議（定例） 年間 9 回開催
- ② 臨時運営会議 開催無
- ③ 理事会・評議員会・監査 評議員会：R1. 6. 24/R2. 3. 16（2 回）
理 事 会：R1. 6. 6/R1. 6. 6. 24/R1. 12. 25/R2. 3. 6
（4 回）
監 査：R1. 5. 29（1 回）

(2) 生活支援事業

- ① ひとり親家庭等日常生活支援事業（豊中市からの委託事業）

(3) 広報活動事業

- ① 広報部活動 随時
- ② 事業案内発行 随時
- ③ 「大阪ぼしれん」配布 年 4 回（5 月・8 月・11 月・1 月）
- ④ ホームページの更新 随時

(4) 母子及び寡婦福祉法第 25 条に係る売店事業・飲料水自動販売機事業

- ① 市立豊中病院内売店事業 「ローソン市立豊中病院店」の経営
- ② 飲料水自動販売機事業 市内 8 箇所（8 台）販売手数料：1,101,980 円

※上記で得た収入は、お母さん旅行・ランチ会ハイキング等の事業費の一部に充当した。

(5) 会員自主事業

- ① 趣味の講座 ペン習字（毎月第 1・第 3 金曜日）年間参加人数 214 名
編 み 物（毎月第 1・第 3 火曜日）年間参加人数 81 名
- ② 同好会 カラオケ同好会・ハイキング同好会・母子部サークル

※新型コロナウイルス感染拡大により、2 月、3 月にはいり、趣味の講座、同好会等の自主事業を一部中止した。

(6) 会員の交流活動

	事業名	事業内容
(1)	茶話会・クッキング	・寡婦さん同士でシュークリームを食べながら楽しくおしゃべりをし、交流を図った。 参加者（13名）4/10（水）
(2)	お母さんバスツアー	・滋賀、長浜町を散策し、琵琶湖新名物の水陸両用バスに乗り長浜巡り。長浜港から琵琶湖に着水、水しぶきと初夏の風を感じながら約20分の湖上の旅を楽しんだ。米原の「イングリッシュガーデンローズンベリー多和田」へ移動し、レストランでバイキングランチを堪能した後、自然に囲まれたきれいなお庭を散策して季節の花バラなどを楽しんだ。参加者同士の交流を深める楽しいバスツアーになった。 参加者（27人）5/19（日）
(3)	クッキング	・たこ焼きを全員で楽しく作り、おいしく食べて親睦を深めた。 参加者（12名）6/12（水）
(4)	健康体操	・健康体操講師の指導を受けて、ボールを使い音楽に合わせて上半身中心に身体を動かした。 参加者（11名）7/10（水）
(5)	母子父子福祉センター夏まつり	・母子父子福祉センターとゆたか保育園において3回目の開催となる「センター夏まつり」は多くのひとり親家庭の親子、寡婦、地域の方々に参加いただき、楽しく交流を図ることができた。屋台村では焼きそば、ホットドック、から揚げポテトが大好評。マジックバルーンや消しゴムすくい、スーパーボールすくいも大勢の人で賑わいました。千里ネイチャークラブの工作教室は大変人気で、大人も子どもも楽しみました。ミニ消防車やマチカネくんの着ぐるみも大人気で、記念撮影や握手や抱き着きに行くなど楽しくふれあうことができました。センター事業と共催。 参加者（概ね400名）7/28（日）
(6)	お茶会	・お抹茶をたて和菓子をいただきながら、楽しくおしゃべりをして参加者同士の交流を図った。 参加者（15名）9/11（水）
(7)	ランチ・ハイキング	・万博記念公園「太陽の塔」の内部を見学した後、公園内を楽しくハイキング。昼食はホテル阪急エキスポパークのバイキ

		ングレストラン「ヴェルデ」で和気あいあい、おいしい食事をいただき、交流を深めた。 参加者（23名）10/13（日）
(8)	茶話会	・クリップと小さい折り紙を使ったストラップ作りを楽しみ、お茶を飲み談笑しながら仲間同士の交流を図った。 参加者（15名）11/13（水）
(9)	クリスマス会	・色画用紙とスパンコール、モール等を使ってクリスマスツリーを作成し、クリスマスケーキを食べながら楽しくおしゃべりをして親睦を深めた。 参加者（17名）12/11（水）
(10)	クッキング	・ぜんざいをみんなで調理し、楽しくお話ししながらおいしくいただき交流を深めた。 参加者（14名）2/12（水）
(11)	クラフト	・素焼きの鉢に造花をいけるフラワーアレンジメントを楽しんだ。物を作る喜びを分かち合いながら親睦を深めた。 参加者（9名）3/11（水）

- 豊中市立文化芸術センターご招待の催しは、子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」（参加者 35 名）ほか 4 回の公演に招待を受けた。参加者は 4 回計で 84 名
5 回目になる 3 月の公演は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止された。

(7) 相談事業

- ① 子育て・就労・生活等に悩んでいる母子家庭及び寡婦並びに父子家庭の方へのサポートをした。（離婚相談にも対応）

2. 大阪府母子寡婦福祉連合会事業

- ◇ 母子家庭母の集い 7/14（日）17 名参加
- ◇ 奨学金給付式 6/8（土）16 名授与される。年額：6 万円
- ◇ 子ども輝く未来基金事業 「赤目四十八滝自然満喫体験」三重県名張市
8/3（土）～8/4（日）1 組 2 名参加
- ◇ 大阪府母子寡婦福祉大会 2/11（火・祝）24 名参加

平成31（令和元）年度 豊中市立母子父子福祉センター 事業報告書

自平成31年4月 1日
至令和 2年3月31日

事業名		事業内容
就労支援講座	介護職員初任者研修	5/12～8/25（日）15回 定員15人 受講者8人 受講者合計108人 修了試験受講者数7人 資格修了証認定者数7人
	事務職をめざすための 日商簿記3級検定対策講座	9/1～11/3（日）20回 定員20人 受講者 10人 保育申込者2人 受講者合計180人 保育利用者合計18人 総人数198人 検定試験申込者数9人 受験者数8人 合格者数6人
	ビジネスパソコン基礎講座	10/3～11/28（木）9回 定員10人 受講者9人 受講者合計143人 検定試験申込者6人 受験者数6人 合格者数5人
	調剤事務管理士 資格取得講座	2/2～3/15（日）7回 定員20人 受講者 13人 保育利用者2人 受講者合計178人 保育利用者合計12人 総人数189人 検定試験申込者13人 受講者数13人 合格者数9人 （新型コロナウイルスの影響で、在宅試験で実施）
学習支援講座	ひとり親家庭学習支援教室	4/13～3/7 毎週（土）【4月第1土曜日・休館日・祝日除く】 年間授業数44回（当初47回のところ新型コロナウイルスの影響で3月の3回分を中止にした） 年間出席者数 中学生416人 高校生309人 合計725人 ※夏季講習 8/20（月）・8/21（火）・8/22（水）・8/23（木）・ 8/24（金）計5回 出席者数 中学生29人 高校生23人 ※冬季講習 12/26（水）・12/27（木）12/28（金）・1/4（金） 計4回 出席者数 中学生31人 高校生17人 クラブ活動が忙しく午前のみ、午後のみ参加生徒が多かった。講師に相談する生徒も増えてきて、進路指導や学習計画を個別に行うことにより個々の学習意欲を高めることができた。夏季講習・冬季講習を開催し、長期の休み中も勉強をする習慣が身に付いた。クリスマス会（20人）を開催し、交流と親睦を深めた。母子会お母さんによる手づくりのお昼ごはん提供（子ども食堂）を合計5回実施し、講師生徒共に温かいごはんに感謝と大満足。新型コロナウイルスの影響で3月の教室は、3/7のみ受験間近の中3生対象に実施。他は中止とした。
生活支援セミナー	奨学金制度説明会	6/30（日）定員30人 参加者25人 （後日資料のみ配布者5人） 内容：日本学生支援機構や大阪府育英会、母子寡婦福祉資金、豊中市奨学金、国の教育ローン、社会福祉協議会の教育資金貸付制度についての説明、質疑応答 講師：豊中市進路選択支援事業 相談員 （社福）豊中市社会福祉協議会貸付相談員 豊中市こども未来部 子育て給付課 貸付担当者
相談	平日 （10：00～16：00）	年間相談件数 面接41件（内父子1件） 電話126件（内父子13件） 合計167件
	弁護士相談	年間相談件数 夜間32件 土曜日39件 合計68件

	専門相談	年間相談件数 計30件
レクリエーション	母子・父子バスツアー	5/26（日） 定員80人 行き先：八つ橋庵ししゅうやかた・京都リーガロイヤルホテル・西利漬物・伏見稲荷大社 参加者：親（母）32人・大学生1人・中学生8人・小学生以下29人 合計70人参加（うち2人欠席） 今回はバスツアー2台、総勢68人でのバスツアー。八つ橋庵ししゅうやかたで生八つ橋作り体験、刺繍作品を鑑賞し細かい技術と美しさに感動しました。漬物の西利での京野菜漬物の試食やお土産選び、お昼は、京都リーガロイヤルホテルのランチバイキング。盛り付け彩りなど、上品で見た目も味も大満足でした。参加者同士にぎやかにお話をし、交流を深めることができました。その後伏見稲荷大社へ、外国人観光客の多さと暑さにびっくり、短い時間でしたが朱色の千本鳥居を通ったり、家内安全の参拝ができました。ひとり親家庭同士の交流を図ることができ、充実した一日を過ごすことができました。
	母子父子福祉センター夏まつり	7/28（日）参加者：概ね400人 開催場所：母子父子福祉センター・ゆたか保育園 3回目の開催となる「センター夏まつり」は多くのひとり親家庭の親子、寡婦、地域の方々に参加いただき、楽しく交流を図ることができました。屋台村では焼きそば、ホットドック、から揚げポテトが大好評でした。マジックバルーンや消しゴムすくい、スーパーボールすくいも大勢の人で賑わいました。千里ネイチャークラブの工作教室は大変人気で、大人も子どもも楽しみました。ミニ消防車やマチカネくんの着ぐるみも大人気で、記念撮影をしたり、握手や抱き着きに行くなど楽しくふれあうことができました。
	親子で楽しいクリスマス会	12/15（日）定員40人 親17人・こども23人 合計40人参加 今回のクリスマス会は、福祉会館が建替え工事のため使用できず、センター3階の会議室を借りて開催。リースやクリスマスウエルカムボードを作り、クリスマス工作を楽しみました。続いて千里丘マジッククラブさんのマジックショー、次々飛び出す不思議の世界に夢中になりました。参加者もマジックに加わり、ハテナの連続に驚き、引き込まれました。ランチは、母子会のお母さんの手づくりカレーと、スプレーチョコときのこの山でデコレーションしたロールケーキを美味しくいただきました。その後サンタさんが登場、プレゼントに大喜び。ひとり親家庭の親子同士の交流を深めることができ、楽しいクリスマス会になりました。
貸室	会議室	年間合計 442件/ 5,517人
	和室	年間合計 332件/2,266人
	会議室・和室 合計	年間合計 771件/7,783人
研修	母子相談員研修	相談員2人 年5回受講
	人権研修	常勤職員1人 年1回受講
安全管理	消防訓練講習会 設備点検	消防訓練年1回実施・安全管理合同会議年1回 非常時通報装置使用方法の講習会年1回実施 設備点検（消防・自動ドア・電気・空調）

平成 31（令和元）年度 ゆたか保育園事業報告書

1. 基本方針

当園の『保育の内容に関する全体的な計画』にのっとり、

子どもたちの美しい心を育む

健やかなからだを育む

豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指し、保育の中で工夫や

一人ひとりの子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員会議やミーティングにおいて職員全員で考え、実践していくようにした。

育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に丁寧に関わりながら、保護者自身の自立への援助も行っていた。

家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、ゆたか保育園ではそれらのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いていった。

(1) 保育の充実

- ・乳幼児の発達保障のための落ち着いた日常生活を大切にした保育方針をもとに、乳児クラスは、育児担当保育を行い大人との愛着を大切にして、個々に応じた保育を丁寧に行っていき幼児期に繋げていく。また幼児クラスは、保育士の見守りの中乳児期に培った愛着をもとに、自分の事を好きになり、友だちとの関わりも深めていった。
- ・園の活動や行事の目的を明確にし、実施し、活動の評価を行いながら、子どもたちの成長や満足感を引き出す工夫をし、子どもたちに必要な体験と成長を考えた保育を行い、園と子どもたちで楽しい毎日を積みあげていった。

(2) 保護者への支援

- ・スマイルサポーターを中心に、いろいろな困難を抱える保護者に寄り添い、必要に応じて相談にのり、保護者の気持ちが安定し、子どもとの生活に安心できるような子育て支援となる保育を行った。

- ・支援児の保護者とは、日々の連絡ノートその他、年3回の個人懇談やふれあいカーニバル(運動会)、生活発表会の予行練習の見学等を行うことで、保護者の不安を和らげ、園児の成長を共通認識することができた。
- ・小学校就学に向けて不安のある保護者、園児に対して、教育委員会や学童クラブの職員の園見学、懇談を実施した。

(3) 地域交流事業

キッズランド・スイトピー（地域交流事業）、保育園行事参加、異年齢交流事業、世代間交流事業に取り組み、地域を含めて親子の育ちを応援する催しの企画運営を行った。

(4) 職員育成

新入職する職員、臨時職員、中堅以下の職員、パート職員の保育力、専門性の向上また主任をはじめとしたベテラン職員による後輩育成の流れをつくるようにし、キャリアアップとしての研修、公開保育などに参加し自らのスキルアップと共に若手職員への指導につなげた。

また各担当リーダーが主となり、職員同士の意見の交し合いをする機会として、全職員でのワーク・ディスカッションも行った。

(5) 運営の組織化

各会議の定例開催を図り、保育・保健・給食それぞれの課題共有と解決を図り、人事考査、園の定員数、職員数の見直し、運営の充実の検討を重ねていった。

2. 児童定員 50名

H31年4月1日 59名（弾力化）

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
認可定員	9名	9名	9名	9名	9名	5名	50名
弾力化数	11名	13名	12名	10名	9名	4名	59名
内障がい児	2名 (内1名は 担任加配)	0名	0名	0名	0名	0名	2名

R2年3月31日 60名(弾力化)

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
認可定員	9名	9名	9名	9名	9名	5名	50名
弾力化数	11名	13名	12名	10名	9名	5名	60名
内障がい児	2名 (内1名は 担任加配)	0名	0名	0名	0名	0名	2名

3. 保育園開園時間

午前7時00分～午後6時30分

午後6時30分～午後7時00分(延長保育)

4. 職員配置 (R2年3月)

園長(1) 主任保育士(1) 保育士(8) 時短保育士(1) 看護師(1)
 非常勤保育士(パート)(3) 朝・夕・土曜日パート保育士(4) 派遣保育士(1)
 用務(1) 事務(1)・・・22名 育児休暇中保育士(3)
 嘱託医[内科・歯科・眼科・耳鼻科](4)
 委託調理師・調理員(3) 委託栄養士(1)

5. 運営方針

(1) ゆたか保育園の運営管理を円滑に行うために次の会議を開催する。

- ・職員会議 月1回 定例会議
- ・保育会議 年3回 定例会議
 保育中核リーダー、保育リーダーを中心に議題を職員から吸い上げ職員全員でグループワークなども行った。
- ・障がい児担当者会議 随時
- ・昼ミーティング 毎日その日の伝達事項の確認を行った。
- ・アレルギーミーティング 毎日次の日のおやつ・給食のチェックを行った
- ・食育会議 月1回
 マルワの調理師、栄養士、担当者と意見を交換し、安全・安心な食事の充実を図っていった。
- ・保健会議 月1回
 保健、衛生に関することを看護師中心に話し合い、知識も高めていった。
 感染症報告(突発性発疹・ヘルパンギーナ・水痘・感染性胃腸炎・マイコプラズマ肺炎・インフルエンザ、アタマジラミ)

保護者・担任・看護師・調理師によるアレルギー面談(月1回)を行い、
変わった事などがあれば食育会議、保健会議で伝えた。

エピペンの使用講習については、新職員に実施した。

- ・クラスミーティング、乳児会議、幼児会議 月1回及び随時
より良い保育を行うため、保育の内容や行事について話し合いを行い、
保育士の共通認識とした。
- ・運営委員会 年2回
- ・施設会議 月1回 定例会議
- ・苦情解決委員会 今年度は、苦情解決委員に報告する苦情はなかった。
- ・園内人事委員会 随時

(2) 各種係を設置し職員全員が分担し行った。

・行事係

- *プール開き *七夕の集い *ふれあいカーニバル
- *おじいちゃんおばあちゃんとあそぼう *作って遊ぼう
- *もちつき大会 *お楽しみ会

(ノロウイルス感染拡大防止のため中止)

*お正月遊びを楽しもう

*生活発表会 *誕生会(3月以降は各クラスでお祝い)

*卒園式(新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加者人数を縮小した)

・地域支援

キッズランド・スイトピー(ベビーマッサージ・体操教室・足育など)

園庭開放(月～金 10時～11時)

園行事や親子で楽しめる行事への参加・世代間交流事業・異年齢交流事業

・歓送迎会、法人全体交流会、新年会

・避難訓練・消火訓練実施計画と実行 月1回

(3) 保育士の業務効率化を図る

- ・ICTを使つての週日案の作成を全クラスで行うことで職員のパソコン入力
のスキルも向上し、業務効率化を図ることができた。

6. 保育方針 (新保育所保育指針 平成29年3月31日告示)

(1) 基本方針

- ・保育はクラス別基本方針にのっとり、安心安全で楽しく、成長促進となる
保育園生活を営む。
- ・最低基準を遵守し、園児の安定を大切にする。

- ・ 全体的な計画の保育理念「子どもたちの美しい心を育む・健やかなからだを育む・豊かな夢を育てる」を実現するために年間・月間・個人カリキュラム・週日案等の中で園児の為に評価・反省・課題を出しながら日々の保育の大切さをいつも心にとめ、より良い保育の実現を目指す。

クラス別保育方針は次の通り

- 0歳児クラス：発達の特徴と違いを踏まえ、愛情豊かに応答的な関わり下で
(8か月から) 信頼関係を築き、人と関わる力の基盤を培える保育を工夫するし着関係を築くことができた。
- 1歳児クラス：保育士等の愛情豊かな受容の下で全身を使う遊びと休息・食事・排泄・午睡等安心できる生活リズムを作っていた。自分ですりとする気持ちを大切に、できた時は十分褒めて認めていき、応答的な触れ合いや言葉がけによって欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことができた。
- 2歳児クラス：保育者の見守りの中様々な経験をすることにより自分でできる事も増え認められることで、喜びや意欲につながった。友だちとの関わりの中でも相手の気持ちもわかるようになり、一緒に遊ぶ喜びを感じ、困っている友だちを助けようとする姿も芽生えてきた。
- 3歳児クラス：基本的な生活習慣を身につけ、自信に繋がってきた。色んな遊びの中から自分の好きな遊びを見つけ机上遊びで友だちと誘い合いルールも理解してきた。体操教室で運動遊具を使うことに挑戦し自信をつけていった。
- 4歳児クラス：生活の中で、自分で出きる事に喜びを持ちながら、一人一人が意見を言える場を持つことで、友だちに自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気づき聴いたりできるようになった。繰り返しの活動を通して不得意ではなく「やってみよう」と思い、できたことで自信となり友だちを誘う姿も多くみられるようになった。
- 5歳児クラス：クラス活動を通して友だちにも得意・不得意があることに気づき助けたり、共感する姿がみられるようになった。生活発表会の話し合いや異年齢児等の活動の中で、自分の気持ちだけでなく、相手の思

いに気づけるようになった。

(2) 給食 (株) マルワに委託した。

委託業者との連携を密に行い、安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る給食管理を行った。

- ・安心安全の食材の調達と衛生管理、独自の給食献立による食事の提供を行った。
- ・アレルギー除去食、可能な範囲での代替食の実施を医師記入の『豊中市就学前施設におけるアレルギー疾患生活管理指導表』により行う。また月1回保護者とアレルギーチェックを行い、保育士、看護師、調理員と連携のもと誤食の事故防止を図っていった。

前日 アレルギーミーティング（保育士・看護師・調理師）

当日 調理師同士の声掛けチェック、保育士が調理室に貰いに行く時にチェック表を持参し調理師との食札と言葉でのチェックを行った。

保育室での配膳時の配膳台は、普通食と別の棚に置き保育士同士での声掛けを行っていった。

- ・保護者への情報提供として給食だよりの発行や平均給与栄養量の掲示をした。
- ・人気のメニューのレシピを保護者に配布した。
- ・本部学習支援の「子ども食堂」時ごはんを炊いてもらった。

(3) 保健

きめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大抑止のための情報提供(園内掲示)や、健康相談などを行った。

- ・発育測定 毎月1回
- ・内科健診 乳児年4回 幼児年2回
- ・歯科検診 年1回 (歯みがき指導含む)
- ・眼科検診、視力検査 幼児年1回
- ・耳鼻科検診 幼児年1回
- ・尿検査 5・4歳児 年1回
- ・職員検便 毎月1回
- ・職員健康診断 年1回
- ・室温、湿度の管理や外気温に合わせて戸外遊びなども調整した。
- ・光化学スモッグ、黄砂、PM2.5の情報公開
- ・けが防止ヒヤリハット活動の充実
- ・健康なからだ作りのために各クラスに対して、看護師による手洗い、うがい、トイレ指導をおこなった。4・5歳児は、手洗いチェッカーで菌の落ち方を知

ることができた。

- ・玩具の消毒や空気の入替えもこまめに行った。
- ・下痢嘔吐が園内で多発したため保健所へ報告し、歯ブラシやコップの毎日の持ち帰りやペーパータオル使用などで対応した。

(4) 環境整備

- ・施設安全点検（月 1 回）で危険箇所などを確認し、不備があれば改善した。
- ・園庭整備（猫の糞や危険物の点検と掃除を毎朝行った）草むしり（随時）
- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂さらい（6/1（土）の保育参観終了後全職員で溝掃除を行った）
- ・各クラス子どもたちの成長に合わせ生活しやすいように保育室のコーナー等の環境整備を行った。
- ・隣地ブロック塀倒壊対策でフェンスを設置したことにより園庭が狭くなったこともあり、乳児クラスは時間を工夫し、幼児クラスも安全面や遊び方を工夫し桜塚公園で遊ぶことを増やした。
- ・送迎時にコインパーキングのサービス券配布することにより、路上駐車が解消された。（利用枚数 2,404 枚）

7. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月 1 回 防災または防犯訓練を実施した。担当者は毎月変わり、火災・地震・浸水・不審者侵入を想定して避難した。紙芝居等での指導も行った。
- ・消火器の使い方の把握や再確認のため毎月職員が消火訓練を行った。
- ・緊急時の通信手段として、「NTT 災害伝言ダイヤル 171」を保護者に知らせ保育園から伝言を録音して聞いてもらう体験を行った。（9/1・9/2・1/17・1/20）
- ・毎月末安全点検（各クラス、施設全体）を行い危険箇所がないか点検すると共に日々の環境整備も心掛けた。
- ・ヒヤリハット報告（32 件）
 - 噛みつき、ひっかき、つねる、異物が落ちていた、火災報知器を子どもが押す、テントの柱を子どもが触り傾く、フェンスや公園から子どもが出ていこうとした、個人連絡ノートを他人のウォールポケットに入れる、隣家のブロック塀に飛びつきお腹をする、虫よけパッチをくわえていた、事務所カウンターの扇風機を触っていた、ぞう公園の滑り台を逆走して口元を打った
- ・事故報告（1 件）
 - 公園の広場を走っていて左足甲を痛めた
- ・食物アレルギーヒヤリハット報告
 - 献立表と提供していたパンの種類が違う、アレルギー食材がトレーにのって

いた、除去食品がある日なのに「除去食品なし」という調理室からの伝達ミスがあった

未然に防ぐことのできる事例が多いので、全職員で情報共有して今後につなげた。

- ・ j モバイルメールの発信 10回

(5/11・6/16・8/9・8/14・10/12・10/18・2/28・3/21・3/26・3/30)

- ・ 地域(中桜塚自治会)、母子父子福祉センター、自治会と連携し総合避難訓練を行い防災意識を高めた。

(11/6(水) 豊中市北消防署の職員の方に来てもらい通報訓練、避難訓練、消火訓練を行った。ミニ消防車も来て、子どもたちも見学した。)

8. 中学生職業体験の受け入れ

豊中市第三中2年生	2名	職場体験(CAL)受入れ	(3日間)
豊中市第一中2年生	2名	職場体験(CAL)受入れ	(3日間)

9. 職員育成と研修計画

- ・ 乳幼児保育、障がい児保育、虐待、衛生管理、安全管理、指導計画、遊び、造形、感染症、保護者支援、人権、社会貢献について様々な研修に述べ100回参加し会議で報告し、資料を回覧し実践につなげていった。
- ・ 関係機関(豊中市、保健所、保育幼稚園室、大阪府社会福祉協議会、豊中市民間保育園連合会)の研修に参加した。
- ・ 保育理念について、園内の保育会議にパート職員も参加し、グループワークで話し合う機会を設けたことにより、共通認識を持ち理解を深めることができた。
- ・ ICT化に伴いパソコンの得意な職員がそうでない職員に指導していくことにより、少しずつ活用できるようになった。
- ・ 保育園に送られてくる研修の情報を職員に知らせ、自主研修も推奨した。
- ・ 幼稚園免許更新講習を1名の職員が受講し修了した。
- ・ 園内ヒヤリングで、保育や働き方の振り返りを行い、ストレスチェックでは自己の健康充実を図った。
- ・ キャリアアップ研修として、「幼児教育分」「マネジメント」「食育・アレルギー対応」「保護者支援・子育て支援」を受講した。
- ・ 各リーダー(保育中核リーダー・環境リーダー)が、何をできるかを自ら考えていき、会議やアンケート、振り返りを通じて日々の保育へとつなげていく事が出来た。
- ・ 子どもの貧困についてをテーマに豊中市社会福祉協議会の勝部さんに講演していただくことで、様々な境遇に子どもがいることを再認識することができた。

10. 子育て支援事業

- ・保育園の職員の専門性を生かしスマイルサポーターを中心に子育てや食事の相談をうけた。

スマイルサポーター 3名在籍

- ・キッズランド・スイトピー（年10回）
- ・母子父子福祉センターまつり

親子向け遊び歌ライブを行い、大勢の親子が参加し楽しんだ。

11. 地域に必要とされる福祉活動を実践し、発信できる保育園作り

- ・社会福祉法人の社会貢献事業としてホームページで、地域の親子に対しての子育て、子育ての相談も含め、共に育つことへの喜びを分かち合えるように園で行われる行事や地域交流をより広く発信したが、園内の事情により（感染症流行等）により地域の親子と交流することが少なかった。

また自治会や老人会と（週2回桜塚公園でのラジオ体操、ふれあいカーニバル、おじいちゃんおばあちゃんとあそぼう）等でさらに交流を深めることができた。

中学生職場体験では、「地域の子どもは、地域で育てる」という理念をもとに働くことの厳しさと喜びを伝えることができた。

12. 園舎建替えについて（令和4年度竣工予定）

新園舎基本方針として4社の提案を聞き（指名参加型）比較をおこなった。

- 1.ゆたかな共用空間（ホール）が園の核となり、園児たちの自発的な行動を促す。
- 2.周辺への住環境への配慮をおこないながら、まちに溶け込んだ保育園を目指して、地域と共存していく。
- 3.市街地でも自然環境をふんだんに取り込み健やかな環境を作る。

上記のコンセプトや事業費、設計費等を比較した結果（株）ヴァンズと委託契約を締結した。

13. 新型コロナウイルス感染拡大防止対応について

3月から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者が自宅におられる場合は「家庭保育」の協力を依頼した。概ね20名の園児が登園を自粛した。

平成31（令和元）年度 年間行事報告

社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会
ゆたか保育園

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

月	日	事業名	事業内容
4	1	入園・進級を祝う会	新入・在園全ての親子で入園進級を祝った
5	15	クラス懇談会2歳児クラス 18:00~19:00	子どもの家庭での様子や悩み事を話し合ったり、入園進級後の子どもたちの様子を伝え、今後の取り組みなども伝えた
	21	クラス懇談会0・5歳児クラス 18:00~19:00	
	29	クラス懇談会3・4歳児クラス 18:00~19:00	
	22	スイトピー(地域交流事業)	おはなし会・ふれあい遊び 2組の親子の参加
	29	幼児おにぎり遠足	5歳児は阪急バスで伊丹スカイパーク、3,4歳児は大門公園にて遊ぶ(3,4歳児のおにぎりは園で食べた)
	31	スイトピー(地域交流事業)	ベビーマッサージ 5組の親子の参加
6	1	保育参観	幼児は、親子で大門公園へ 乳児は親子で触れ合いあそびをして楽しんだ
	4	クラス懇談会1歳児クラス 18:00~19:00	子どもの家庭での様子や悩み事を話し合ったり、入園進級後の子どもたちの様子を伝え、今後の取り組みなども伝えた
	4	乳児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	5	尿検査	4,5歳児が行う
	13	歯科検診(全クラス) 歯磨き指導(幼児)	嘱託歯科医 小原歯科 中西Drにより行う
		個人懇談週6/17(月)~6/28(金)	家庭での様子や悩み事、保育園での様子等を話し合った
	21	スイトピー(地域交流事業)	ベビーマッサージ 4組の親子の参加
	28	プール開き	プールでの約束事を守りながら楽しく遊んだ
7	3	幼児おにぎり遠足	4,5歳児は大型バスで伊丹昆陽池昆虫館、3歳児は谷田公園にて遊ぶ(3歳児のおにぎりは園内玄関ホールで食べた)
	5	七夕の集い	笹飾りを作ったり、短冊に保護者と願いを書き笹に飾った
	11	耳鼻科検診	嘱託耳鼻科医 こうづきDrにより行う
	12	お泊りがんばってね会	お泊り保育をする5歳児の為に激励会を行った
	14,15	5歳児お泊り保育	園内でクッキングやレクリエーションをし、宿泊した
	17	スイトピー(地域交流事業)	ベビーマッサージ 4組の親子の参加
	28	センター夏祭り	ゆり組が和太鼓演奏を披露した
8		プール開放(地域交流事業)	火・木11:00~11:30 3組の親子の参加
9	3	全児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	13,19	おじいちゃん・おばあちゃんとあそぼう(世代間交流事業)	地域の高齢者を招き、歌を披露したり、お手玉、けん玉、折り紙等一緒に遊んだ
	21	保護者会夏まつり	桜塚公園にてゲーム、けん玉など親子一緒に楽しんだ
	27	スイトピー(地域交流事業)	足育 5組の親子の参加
10	4	幼児おにぎり遠足	5歳児は阪急電車でわかば保育園に行き、(4,5歳児)と交流 3,4歳児は轟公園で遊び、おにぎりを食べた
	16	スイトピー(地域交流事業)	体操の先生と一緒に遊ぼう! 2組の親子の参加
	20	ふれあいカーニバル(世代間交流事業)	桜塚公園にて、地域・高齢者と運動会を楽しんだ 乳幼児11名 小学生19名 高齢者16名
	28	芋掘り遠足(メディカルホームくらら桃山台ベネッセの畑)	阪急バスを利用し、4,5歳児が芋掘り体験をした
	29~31	地域職場体験学習受け入れ	豊中市立第三中学校生2名が園児と一緒に遊び、保育士の仕事を体験をした

11	1	バス遠足 (5・4・3歳児)	大型バスで五月山公園に行き遊んだ
	6	総合避難訓練 (母子父子福祉センター・中桜塚自治会合同)	火事を想定し桜塚公園に避難、消防職員に来てもら いお話を聞いたり、ミニ消防車をみたりして防災に 対する意識を高めた
	8	いっしょにつくってあそぼう (南桜塚小)	手作りの玩具を作り小学生と一緒に遊んだ
	11~18	保育参観週間	都合の良い日に保育の様子を参観してもらった
	22	スイトピー(地域交流事業)	足育 3組の親子の参加
	26	みんなでつくろう	3, 4, 5歳児で手作り玩具を作り、一緒に遊んだ
	28	眼科検診・視力検査 (3, 4, 5歳児)	嘱託眼科医 高島Drにより行う
12	2~13	個人懇談週間	子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での 様子等を話し合ったり、成長を喜びあった
	2	作品展 (桜塚小)5歳児	インフルエンザ感染拡大防止の為に中止
	3~5	地域職場体験学習受け入れ	豊中市立第一中学校生2名が園児と一緒に遊び、保 育士の仕事を体験をした
	4	もちつき会	感染性胃腸炎感染拡大防止の為に中止
		スイトピー(地域交流事業)	ベビーマッサージ 6組の親子の参加
	18	乳児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行う
	20	幼児おにぎり遠足	3, 4, 5歳児で大門公園で遊び、園に戻っておにぎりを食べた
1	26	お楽しみ会・スイトピー (地域交流事業)	感染性胃腸炎感染拡大防止の為に中止
	15	母子会新年互礼会	5歳児が和太鼓を披露した
	17	お正月遊びを楽しもう	凧揚げや羽根つきなどを楽しむ。(各クラスで行う)
	22	スイトピー(地域交流事業)	ベビーマッサージ 4組の親子の参加
	27	入学体験 (南桜塚小学校)	インフルエンザ感染拡大防止の為に中止
2	31	幼児おにぎり遠足	3, 4, 5歳児で大門公園で遊び、園に戻っておにぎりを食べた
	3	スイトピー(地域交流事業)	ベビーマッサージ 4組の親子の参加
	6	入学体験 (緑地小学校)	5歳児が小学校に期待が持てるよう体験した
	8	生活発表会 (3, 4, 5歳児)	歌、劇、和太鼓を通して成長した姿をみてもらった
	12	クラス懇談会3, 4歳児クラス 18:00~19:00	子どもの家庭での様子や悩み事を話し合ったり、保 育園での子どもたちの様子をVTRなどで伝え、皆で 成長を喜び合った
	19	クラス懇談会1歳児クラス 18:00~19:00	
	25	クラス懇談会0, 2歳児クラス 18:00~19:00	
3	13	交通安全教室 (3, 4, 5歳児クラス)	佐川急便の方に交通ルールを教わり、体験をする
	19	入学体験 (桜塚・南桜塚小学校)	5歳児が小学校に期待が持てるよう体験した
			2校に分かれて参加
	4	新入児入園説明会	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止
	5	スイトピー (地域交流事業)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止
	6	お別れ遠足	3, 4, 5歳児で大門公園で遊び、園庭で弁当を食べた
	16	継続児・新入児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより 継続児・新入児の健診を行った
	25	卒園式	卒園した喜びを分かち合える式となった
		園庭開放10組の親子の参加	

年間を通して毎月の行事

お誕生会 (毎月第3火曜日) 給食は誕生会メニュー
 発育測定 (身長・体重・胸囲)、避難訓練、消火訓練、防犯訓練 (危機管理による)、安全点検
 衛生検査 (頭シラミ、手足の爪などの検査)
 4・5歳児・・・月1回和太鼓の稽古
 3・4・5歳児・・・月2回体操教室
 園庭開放 (月～金) 絵本貸出 (第1・3金曜日)
 その他個人懇談、育児相談は随時

平成 31(令和元)年度 わかば保育園事業報告書

1. 基本方針

当園の全体的な計画にのっとり、子どもたちの美しい心を育む

健やかなからだを育む

豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指す。保育の中で工夫や一人一人の子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員全員で考え、実践していくようにする。

多様な保護者に安心していただけるように支援にも努力し、継続の家庭はもちろん外国籍の方、育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に、丁寧に関わり安心しあえる関係を築いていく。

家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、わかば保育園ではそのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いていく。この基本方針を令和元年度の一年間、実践できるように努力、研鑽をおこなった。

(1) 保育の充実

- ・新保育所保育指針による要領に基づいた全体計画を作成し、0～5 歳児の保育の安定をはかり、乳幼児の発達保障のための落ち着いた日常生活を大切にしたい保育方針をもとに、子どもの発達や月齢構成に応じた生活や子どもが主体的に考え行動できるカリキュラムの工夫を行い、健康なからだと安定した豊かな情緒が育つように、乳児、幼児の成長の違いを把握し、全体の保育を充実していけるようにした。
- ・園の活動や行事の目的を明確にし、実施し、活動の評価を行いながら、子どもたちの成長や満足感を引き出す工夫をし、年間の行事計画内容を子どもたちに過度の負担がないようにしながら、乳児、幼児とも日々の保育を大事にし、年長児は何事もあきらめず、友だちと一緒に頑張ることを目標にして、そのプロセスでの経験を大事にすることができた。
- ・体操教室では、体幹を鍛える運動や年中・年長の組体操の取り組みをして、ファミリーフェスティバル（運動会）でクラス一丸となって頑張ったところを見ることができた。音楽指導では、リズムや音符、歌唱で情緒の豊かさを培うとともに、

歌唱する時のスタイルを日々の活動のなかにも取り入れて、しっかりと歌で表現することができ、合唱・合奏を年の締めくくりのわかばっこ発表会で披露できた。

- ・ 広くなった園庭での縄跳びやかけっこ、三輪車、四輪車、スケーター等の遊具を使いこなせるように常時置き、春夏の野菜、秋冬の野菜を収穫したり、草花を植えて植物や虫に関心を持てるようにしてきた。まだ樹木や草花、外遊びでのいろいろな経験ができる様な園庭造りには課題があるが、良い環境となるように職員と共に考え実現してゆきたい。

(2) 保護者への支援

- ・ 保護者の顔色や子どもへの言葉がけ、振る舞いを視診時によく観察し、声をかけながら育児や家庭の悩みの相談を受け少しでも保護者の負担を軽減できるようにした。
- ・ 気になる子どもの保育をいろいろ考慮し、集団での生活で成長のゆるやかさにより困難さが増すところを園内での見守り・関わりに配慮し、保護者とともに園生活・家庭生活の見直しをできるようにし、豊中市児童発達支援センター「つばみ」の紹介と園との連携が大切であることを保護者に伝え、センターの巡回を含めて園児が生活しやすい環境にすることを目指した。
- ・ 保健センターや家庭相談室、子ども家庭センターから見守りが必要と情報が入れば、欠席の時の連絡や子どもの健康チェック等をこまめにするようにした。

(3) 地域交流事業

わくわくサークル（未就園児対象）、保育園行事参加、異年齢交流事業、世代間交流事業に取り組み、園庭開放を月～金にし園児との交流を多くできるように親子の育ちを応援した。

(4) 職員育成

アクティブラーニング研修、キャリアアップ研修、人権研修や中堅職員が新卒職員を牽引するためのスキル養成研修を受け、保育士自身の資質向上に努めた。近くの保育園、こども園の保育の環境設定を見学し自園の環境を見直すことや、各年齢の子どもたちに何が必要か、子どもの主体性を重んじた保育をするには、保育士自身の子どもへの関わり方、声の掛け方をどうすれば良いかを振り返る良い機会となった。

保育園、幼稚園、こども園の公開保育に参加し、保育室の環境設定、園庭の樹木や小屋、遊びの導線等研修記録に残し、自園の在り方を考えていった。

月案、週案、日誌の作成方法を年中・年長は子どもの意見や活動内容に合わせて作っていく方法に変えて、反省欄を設けるのではなくカリキュラムの内容に添って赤ペンで良かったところ、反省点等を記入するやり方にしたので課題等を確認しやすくなった。

(5) 運営の組織化

運営委員会の定例開催を図り、保育・保健・給食それぞれの課題共有と解決を図り、人事考査、園の定員数、職員数の見直し、運営の充実の検討を重ねていった。

2. 児童定員 60名

H31年4月1日時点

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり	ばら	ひまわり	こすもす	すみれ	さくら	
認可定員	11	11	11	11	10	6	60
弾力化数	6	13	12	15	13	6	65
内障がい児	0	0	1	0	0	0	1

令和2年3月31日時点

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり	ばら	ひまわり	こすもす	すみれ	さくら	
認可定員	11	11	11	11	10	6	60
弾力化数	5	14	10	14	14	6	63
内障がい児	0	0	1	0	0	0	1

3. 保育園開所時間

午前7時00分～午後6時30分

午後6時30分～午後7時00分（延長保育）

4. 職員配置

園長（1）主任保育士（1）常勤保育士（12）非常勤保育士6h～7h（5）

看護師（1）朝・夕パート（2）用務（高齢者雇用）（2）・・・24名

嘱託医【内科・歯科・耳鼻科・眼科】（4）委託調理師・調理員（3）委託栄養士（1）

5. 運営方針

(1) わかば保育園の運営管理を円滑に行うために次の会議を開催した。

- ・職員会議 月1回 定例会議
- ・保育会議 月1回 定例会議
- ・部署会議 各月1回 食育会議・アレルギー会議・リーダー会議
フリー会議（随時）・保健会議（随時）・研修会議
- ・運営会議 年2回
- ・施設会議 月1回 定例会議
- ・苦情解決委員会 必要があれば随時 報告会年1回

- ・園内人事委員会 随時
- (2) 各種係を設置し職員全員が分担し運営した。
 - ・行事係
 - *ファミリーフェスティバル（運動会） *プール開き、終い
 - *七夕わかば祭り *ハロウィーンパーティー
 - *作品展 *わかばっこ発表会 *クリスマス会 *伝承遊び
 - *入園・進級を祝う会・卒園式（コロナウィルス対応で縮小） *誕生会
 - ・地域支援（世代間交流事業・異年齢交流事業）
 - わくわくサークル（さわむらしげはる音楽楽団・親子でおにぎり・味噌汁クッキング・ベビーマッサージ・サーキットあそび・運動会）
 - 園庭開放（週 5 回）
 - ・親睦会係
 - 歓送迎会、法人全体交流会（ウエスティンホテル）、忘年会、新年会
 - ・訓練実施計画と実行（毎月 1 回の避難訓練・消火訓練・防犯訓練）
- (3) ICT 化による指導案作成や、延長保育料計算・請求等の効率化を図った。

6. 保育方針

- (1) 基本方針（新保育所保育指針 H29.3.31 告示）
 - ・保育はクラス別基本方針にのっとり、安全安心で楽しく、成長促進となる保育園生活を営む
 - ・最低基準を順守し、園児の安定を大切にする
 - ・全体的な計画の保育理念「子供たちの美しい心を育む・健やかなからだを育む・豊かな夢を育てる」を実現するために年間、月間、個人カリキュラム、日誌等の中で園児のために評価・反省・課題を出しながら、日々の保育の大切さをいつも心にとめ、より良い保育の実現を目指した。
 - ・小学校との連携をとるため幼保小連絡会に参加し、保育所児童保育要録の送付（年長児全員）、就学支援シートの作成（保護者より要請ある時）をした。また、安心して就学できるように小学校との交流にも参加した。

クラス別保育

- 1 歳児は進級児 6 名と新入児で生活習慣を身につけ、自分がしたい遊びを選べるようなコーナー作り、0 歳児と合同保育を 8 月以降に始め、1 歳児でも年下へのいたわりの行動や、0 歳児は 1 歳児の歌・手遊び・運動遊びを見て刺激をうけるなど同じフロアでのクラス設定をしたことは良かった。
- 2 歳児は成長段階とやりたい気持ちを重きにおき、遊具の種類やコーナーの設定の仕方、保育室の使い方等をいろいろ工夫し、室内でできる滑り台を置くなど遊び

のマンネリ化にならないような環境を整えていった。

○3歳児は0.5加配2名合わせて12名で旧園舎1階奥の保育室で過ごすことにし、旧園庭(砂場)と保育室を子どもたちが選んで遊ぶことができる様にした。加配の子どもたちもそうすることで落ち着いて過ごし、活動の節目を前もって伝えたり、保育室に写真と時計の絵で一日の活動を示したりして、クラスの子どもたちが一緒にわかりやすい流れの中で、お互いを認めあえるような保育を目指して過ごしていた。(転所、引っ越しのため10月に10名)

○4歳児は5歳児と合同保育担任1名とし、進級した自覚と5歳児へのあこがれや刺激で、遊びや体操、音楽、リズム運動(3~5歳縦割り)を経験して、人の話を聴く、自分だけでなく友だちのことを思う等、3歳児の時より内面的な成長が見られた。

○5歳児は6名から8月に5名となり、少ない人数ではあるがみんなで考えること、自分も考えること、できないと思えることもあきらめないでやってみようとすることを目標にし、日々の生活の中だけでなく、運動会や生活発表会の場でのみんな一緒に頑張ったところを家族にも見てもらいたい気持ちをもって、やりとげる充足感を味わえた。就学に備えて、緊張しても自分の気持ちを伝えられるように、毎日の生活での大人の関わり方、声の掛け方をいろいろ考えた一年間となり、大人の関わり方が変わったら子どもたちの様子も変わったことを実感した一年となった。

(2) 給食 (株) マルワに委託した。

マルワと安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る衛生、給食管理を行うよう食育会議や随時疑問点など伝達するようにした。

メニュー数を増やすこと、彩りや味付けの改善、野菜を多く取り入れてもらうこと、離乳食の内容とおやつの種類(市販菓子)を増やすこと、旬のものや季節の行事と合ったメニューの取入れを提示した。

- ・アレルギー児のアレルゲン内容の変化や緩和によりアレルギーチェックを再度行い、マルワと献立上の確認、食材、調味料、市販菓子の裏表示のコピー成分表を確認する。各クラスのアレルギーボードは前日に必ず記入し、厨房と口頭でやり取りしそれを基に配膳直前まで複数の職員でチェックし、誤食の事故に至らないようにした。(毎月給食日より配布)
- ・アレルギー食には青色ラップをし、ピンクのアレルギー児用食器を用いておかわりの際などの誤食をよりなくすようにした。

(3) 保健

きめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大抑止のための情報提供や(園内掲示)、健康相談などを行った。

- ・発育測定 毎月1回 5・4・3歳児視力検査(10月)
- ・内科健診 乳児年4回 幼児年2回 歯科検診 年1回
耳鼻科検診 幼児年1回 眼科検診 幼児年1回
- ・尿検査 5・4歳児 年1回
- ・職員検便 毎月1回
- ・光化学スモッグ、黄砂、PM2.5の情報公開
- ・けが防止ひやりハット活動の充実

健康なからだ作りのために各クラスに対して、看護師による健康に関する教育指導も行った。(手洗い・うがい指導、歯磨き指導、からだの作りを知る指導)

(4) 環境整備

- ・夏の酷暑対策で大テントと散水機を購入し、プール日よけ幕を設置して水遊びや泥んこ遊びを行えるようにした。
- ・台風接近の時は北側扉の固定、フェンスの幕を下ろし線路や近隣への被害にならないようにした。
- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂さらい、ネコよけ対策、除草
古い書類の整理、保管、廃棄をした。
- ・園内の整理整頓、絵本・遊具の管理と見直し、園庭遊具の点検をした。

7. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月1回 防災訓練の実施(火災・地震・浸水・有事等)
(消火器の位置・初期消火の手順を必ず行う)
消火訓練(水消火器)の実施・安全点検(各クラス、施設全体)
総合避難訓練で地域の方と一緒に避難訓練をし、ミニ消防車、防護服体験、消火訓練をした。
- ・防災管理マニュアルの見直し(河川状況の把握)をした。
- ・園周辺の立地状況から、交差点・歩道・公園と散歩経路の安全確認を豊中市と警察などを交えて確認し、お散歩マップに危険個所を掲載して園の玄関に貼り出した。
- ・ヒヤリハット報告、事故報告から事故防止充実のための改善
0歳児でからだのバランス、体幹の弱さから口元を打つケガがあった。
1歳児で自分のエリアに入ってくる友だちを何の前ぶりもなく噛んでしまうことがあった。一対一対応を多くし、安心して落ち着き、遊びの楽しさに気持ちがむくようにした。
- ・防災備蓄品の再点検と期限切れにならないように、避難訓練の際に飲料水

災害食の試食をした。

- ・年数回の防犯訓練を実施し、防犯マニュアルの内容を点検、さらに安全への周知を図った。
- ・年2回以上の消防計画、報告を行った。
- ・緊急時に一斉メール配信（Jモバイル）で保護者へ状況を伝えた。
メール受信に慣れてもらうため、月1回行事等に関するメール配信をした。

8. 実習生・中学生職業体験の受け入れ

大阪こども専門学校2名、シングルマザー対象就学支援プログラム受講生1名
神戸教育短期大学1名の実習受け入れをした。

9. 職員育成と研修計画

- ・公開保育、民間連合研修会、園内研修などに参加し自己の保育を振り返り、視野を広げて保育の充実と日常の保育での気づきにより保育士としての資質を向上するようにした。
- ・救命講習を受け、（豊中南消防署より）乳・幼児・大人の心肺蘇生と異物呑み込み時の処置方法を学んだ。
- ・関係機関（豊中市、保健所、保育幼稚園室、社会福祉法人）の研修に参加した。
- ・他園との交流、見学などを実施して視野を広げるようにした。
- ・保育会議（月1回）前に会議の充実を図るため伝達事項は共有サーバで行い、各職員が振り返りにより意見を出し合い、保育内容をより良くなるようにした。
- ・園内研修として体操教室の講師による「乳児の体幹を鍛える運動」と保育士の腰痛予防のための動作を受講した。
- ・園内ヒヤリング（衛生推進者によるストレスチェック）を行い、保育従事者の精神的健康の維持につとめた。
- ・処遇改善Ⅱのキャリアアップ研修（フォローアップ）を受講し、リーダーとしての資質向上と職員育成の助力ができるようにした。
- ・短時間勤務の職員が園内業務や保育、関係機関の新しい情報を周知できるよう連絡ノートだけでなくミーティングを随時行うようにした。

10. 子育て支援事業

- ・スマイルサポーター4名在籍・・・園庭開放の利用で、子育ての相談や入園の相談を受け、入園手続きの手順等を説明した。
 - ・わくわくサークル（未就園児対象）・・・年間11回の活動を通して園児との交流、誕生日会参加、地域総合避難訓練参加、園の行事、保健のはなしにも参加して頂き、親子でクッキング（園庭テラスで試食会）を実施した。
- 新型コロナウイルス対応のため、2月から3月にかけてのピアノコンサート、誕生日会、園見学等の地域参加は中止した。

11. 地域に必要とされる福祉活動を実践し発信できる保育園作り

- * 働く親の生活安定や子どもたちが活動的で生き生きと就学前まで過ごせる保育園生活を目指し、保育の考え方や環境整備を一年通して職員全員で考えて意見交換し、できるところから改善していった。
- * 就職フェア参加により、園見学2名。
- * 入園のための園見学者が多数あった。
- * 園庭開放参加者が園の行事やサークル行事に申し込みをし、定員いっぱいになることが多く、クリスマス会は10名から15名の定員増とした。
- * ベビーマッサージもリピーターが増え、父母で参加される方もいた。
- * ファミリーフェスティバル（運動会）は豊中市障がい福祉センターひまわりにて行い、今年度は初めて4,5歳児の組体操等0～5歳児までのプログラムで園児と保護者が楽しめる一日となった。地域の方の参加もサークルなどの参加、園庭開放、園行事の参加の成果で多くなったことは良かったと思う。わかばっこ発表会は乳児は保護者参加型としてクラスの保育室で行い、幼児は新園舎2Fをホール仕様として劇・合奏・合唱を堂々と披露できた。

12. 新型コロナウイルス感染拡大防止対応について

3月から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者が自宅におられる場合は「家庭保育」の協力を依頼した。概ね30名の園児が登園を自粛した。

平成 31(令和元)年度 年間行事報告

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

月	日	行 事 名	行 事 内 容
4	1日	入園・進級を祝う会	園児 職員
		新入児慣らし保育	0歳児・・・6名 園 長・・・1名
	1日	クラス懇談会（0歳児クラス） 子どもの家庭での	1歳児・・・14名 主任保育士・・・1名
	2日	クラス懇談会（1歳児クラス） 様子や悩み事、	2歳児・・・14名 保育士・・・12名
	3日	クラス懇談会（2歳児クラス） 保育園での様子	3歳児・・・10名 パート・・・7名
	4日	クラス懇談会（3歳児クラス） などを話し合った	4歳児・・・14名 看護師・・・1名
	5日	クラス懇談会（4,5歳児クラス）	5歳児・・・5名 用務・・・2名
	18日	避難訓練（地震）	計 63名
			嘱託医・・・4名 計24名
			委託調理員・・・3名
			委託栄養士・・・1名
5	8日	避難訓練（火災）	午睡中の火災を想定し避難経路など確認した
	15日	地域交流 おやつ試食会 （5組 参加）	地域の親子に手作りおやつを試食してもらい交流した
	17日	歯科検診（全児）	嘱託医（五條歯科 清水医師）
	22日	防犯訓練	紙芝居「いかのおすし」を見て防犯について学んだ
	28日	歯みがき指導（2,3,4,5歳児クラス）	看護師による歯みがき指導を行った
	31日	地域交流 ベビーマッサージ （5組 参加）	講師によるベビーマッサージを地域の親子に提供した
		個人懇談会 （5/20～5/24 0歳児）（5/27～5/31 1歳児）	午睡時間やお迎えの時間を利用して園でのようすを伝えたり家庭でのようすを聞いたりした
6		個人懇談会 （6/17～6/28 4,5歳児） （6/3～6/7 2歳児）（6/10～6/14 3歳児）	
	3日	実習生受け入れ（大阪こども専門学校） ～6/14	
	3日	乳児内科健康診断（0・1・2歳児クラス）	嘱託内科医（明石医院・明石先生）
	6日	身体のおもしろさを知ろう	看護師と幼児クラスの子どもたちが身体パズルを使って学んだ
	11日	避難訓練（火災）	給食室からの出火を想定し稲津町1丁目広場に避難した
	15日	地域交流 ダンス・ダンス・ダンス	地域の方々とダンス・ダンス・ダンスを使って遊んだ
	19日	地域交流 ベビーマッサージ	
	21日	耳鼻科検診（幼児クラス）	嘱託医（フルヤ耳鼻科 古谷先生）
	29日	就職フェア	豊中市文化芸術センターにて開催。職員2名で参加した
	30日		
7	6日	七夕わかばまつり（世代間交流事業）	出店（ゲーム）や保育士が演じるパネルシアターを親子で楽しんだ
	16日	プール遊び開始	5歳児と一緒にプール掃除を行い準備した
	10日	地域交流 どんぐり遊び （5組 参加）	地域の親子とどんぐり遊びを楽しんだ
	11日	避難訓練（地震）	防災頭巾を被って避難した
	20日	ディキャンプ	5歳児がカレー作りなどを体験した
		足型とり	土踏まずの形成を見た
8	2日	避難訓練（台風）	避難用リュックを持ち2階へ避難した
	20日	防犯訓練	紙芝居を見て迷子になったときの対応を学んだ
	28日	地域交流 感触遊び （3組 参加）	地域の親子と寒天遊びなどを楽しんだ
	29日	庄内こどもの杜幼稚園を見学	他園を見学し保育士研修を行った
9	2日	内科健康診断（全児）	嘱託医（明石医院 明石先生）
	6日	プール終了	
	12日	総合避難訓練・消防車来園（地域交流事業）	通報・避難・消火の総合訓練を行い、地域の方々も一緒に避難し消防士からの話を聞いた
	18日	地域交流 うた遊び、おと遊び （6組 参加）	さわむらしげはるさんを招いて地域の方と一緒に楽しんだ
10	3日	視力測定（4,5歳児）	看護師による視力測定を行った
	4日	視力測定（3歳児）	
	4日	ゆたか保育園との交流（4,5歳児）	ゆたか保育園の5歳児が来園し交流を楽しんだ
	9日	地域交流 サーキット遊び （5組 参加）	地域の親子とサーキット遊びを楽しんだ
	2日	ファミリーフェスティバル（運動会）予行	
	8日	体操教室	障害者福祉センターひまわりにて運動会に向けて日頃の様子を表現できるようみんなで作り上げた
	17日	体操教室	

月	日	行 事 名	行 事 内 容
10	19日	ファミリーフェスティバル（運動会）	障害福祉センターひまわりにて体を使った遊びや表現を披露し、地域の方も一緒にプログラムに参加し楽しんだ
	16日	避難訓練（竜巻）	訓練後、竜巻の写真やイラストを見ながら説明を聞いた
	24日	眼科検診（幼児クラス）	嘱託医（もりおか眼科 森岡先生）
	25日	電車遠足（4、5歳児）	雨天のため、園内でミニ運動会を楽しんだ
	30日	地域交流 ベビーマッサージ（7組 参加）	
	28日	作品展 開始 ～12/6	秋をテーマに各クラス作品を作り、展示した
11	5日	実習生受け入れ（大阪保育こども専門学校）～11/18	
	7日	避難訓練（地震）	散歩中に地震が起こったことを想定して訓練した
	13日	地域交流 クッキング（7組 参加）	地域の親子に参加してもらいおにぎりを作った
	14日	園内研修	アイスリー体育講師を招いて体幹を鍛える研修を行った
	21日	防犯訓練	パネルシアターを見て防犯について学んだ
	22日	バス遠足（幼児クラス）	ニフレルにバスで行き、魚や生き物を見て楽しんだ
	25日	豊中あけぼの保育園 見学	他園を見学し保育士研修を行った
	27日	手洗い指導（幼児クラス）	看護師による手洗いの仕方について指導を受けた
	29日	地域交流 ベビーマッサージ（8組 参加）	
		個人懇談会 0歳児（11/5～11/8） 1歳児（11/11～11/15） 2歳児（11/18～11/21） 3歳児（11/25～11/29） 4,5歳児（12/2～12/13）	午睡時間やお迎えの時間などを利用して、子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり、成長を喜び合ったりした
12	2日	乳児内科健康診断（0・1・2歳児クラス）	嘱託医（明石医院 明石先生）
	3日	避難訓練（ガス漏れ）	ガス漏れを想定し園庭に避難した
	11日	身体のおしるしを知ろう（幼児）	身体パズルを使って体の仕組みについて学んだ
	20日	クリスマス会（異年齢交流事業）（16組 参加）	まっただこうきさんを招き、パフォーマンスを地域の親子と一緒に楽しんだ
1	9日	防犯訓練	不審者侵入について学んだ
	15日	地域交流 お花紙遊び（6組 参加）	地域の親子と一緒にお花紙を使って感触遊びを楽しんだ
	18日	避難訓練（火災）	土曜日の合同保育での訓練を実施した
	24日	歯みがき指導（2歳児）	看護師による歯みがきの仕方について指導を受けた
	24日	クラス懇談会（5歳児）	子どもたちの姿を伝え卒園式について話をした
2	8日	わかばっこ発表会	表現活動を楽しみ保護者の方と成長を喜んだ
	14日	カプラワークショップ	エール（株）を招いてカプラの使い方について学んだ
	18日	避難訓練（漏電）	夕方の合同保育での訓練を実施した
	19日	バス遠足（幼児）	新型コロナウイルス感染予防のためスカイパークに行先変更した
	20日	クラス懇談会（2歳児クラス）	子どもたちの姿を伝え保護者と一緒に成長を喜んだ
	17日	実習生受け入れ（神戸教育短期大学）～2/28	
	28日	野田小学校との交流（5歳児クラス）	新型コロナウイルス感染予防のため中止になった
3	3日	地域交流 アンサンブルコンサート	ピアノ、マリンバ、ヴァイオリンの演奏を楽しんだ
	4日	避難訓練（地震）	ローズ文化ホールに避難する予定だったが雨天のため園内で行った
	6日	内科健康診断（全児）	令和2年度の新入児の健康診断後に入園説明会を実施した
		新入児入園説明会、内科健康診断	
		クラス懇談会 3/9 0歳児クラス	新型コロナウイルス感染予防のため、中止とした
		3/4 1歳児クラス	
		3/13 3歳児クラス	
		3/5 4歳児クラス	
	19日	おわかれ会	卒園児を紹介し就学に向けてお祝いをした
	24日	卒園式 予行	卒園式に向けて練習を行った
	26日	卒園式	保護者と職員で卒園を祝った

その他の行事

お誕生会（毎月第4木曜日）・・・年間を通して計17組の地域参加があった

発育測定（身長・体重・胸囲）

園庭開放・・・年間を通して計7組の地域参加があった

避難訓練、消火訓練、防犯訓練（危機管理による）、安全点検

衛生検査（毎週初めに頭シラミ、手足の爪などの検査）

延長保育事業

音楽教室（3、4、5歳児クラス）・・・アイスリー講師による指導 年間15回

体操教室（全クラス）・・・アイスリー講師による指導 年間24回

平成 31(令和元)年度市立豊中病院内売店(ローソン)事業報告書

1. 売店運営の展開

- (1) 平成 26 年 2 月 28 日開設した「ローソン市立豊中病院店」は 6 年を経過しました。31(元)年度は、1 階のレストランは閉鎖されていますが、職員食堂が再開されたことによる売上減は元年 9 月の売店リニューアルにより持ち直しました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2 年 3 月の客数、売上ともに前年比 20%程度落ち込みました。ただ、前年度比較では客数 7.5%、売上 4.3%の減少にとどまり、本部への繰入は前年度と同額の 5,000,000 円を維持しました。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大による客数、売上への影響は大きく、2 年 4 月以降いずれも前年比 40%の減少が続いています。営業時間を短縮するなど、人件費や商品の仕入れ、廃棄処分など経費の見直しを行い、収益の減少を抑えてまいります。

2. 売上高と客数の推移

		31(元)年度	30 年度	29 年度	28 年度	27 年度	26 年度
売上高 (単位千円)	年 間	193,546	202,090	201,858	177,246	169,340	160,462
	(前年比)	(▲4.3%)	(+0.11%)	(+13.8%)	(+4.6%)	(+5.5%)	
	月 間	16,128	16,840	16,821	14,770	14,111	13,371
	1 日	530	553	553	485	462	439
客数 (単位 人)	年 間	395,302	427,324	436,380	386,725	368,950	361,596
	(前年比)	(▲7.5%)	(▲2.1%)	(+12.8%)	(+4.8%)	(+4.8%)	
	月 間	32,941	35,610	36,365	32,227	30,745	30,133
	1 日	1,083	1,170	1,195	1,059	1,008	990